



【SDGsを進める本社】

○本社所在地：愛知県瀬戸市

○事業概要：廃棄物収集・運搬事業

リサイクル事業・廃棄物処理業

一般貨物自動車運送事業

行政委託事業

バイオマス燃料事業

○常時使用する従業員：201名

（2024年9月時点）

○現在の売上高：23億円

（2024年9月期）

○法人番号：7180002072559

○Web：https://iwataseisou.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
金森 知実

資源循環型社会の実現

「資源循環型社会」に向けて、有限な資源を効率よく利用し適切に対処できる新たな「廃棄物という概念のない社会」の構築を皆様と共に進めてまいりたいと思います。

さらには、地域に根付いた回収・処理体制を整えることで、より良いまちづくりに貢献していきます。

また、行政の廃棄物処理計画に積極的に参加させていただき、地元から必要とされる企業として成長することを目指します。

従業員の労働環境の改善にも積極的に取り組み、地域の雇用創出に貢献しながらこれらの目標を達成いたします。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上高100億円達成に向けて、当初は毎期5%程度、その後15～35%程度の成長を目指す。

目標実現のために、各工場の機械や作業の見直し、最新設備の導入により作業の効率化を図り、処理能力を上げる。

また、新たなリサイクル事業への進出に向けて、新工場の設立・設備の導入を進める。

課題

- ・IT、AI活用による効率化
- ・処理工場の拡大
- ・現在の設備を見直し、高効率・低エネルギーな設備を導入
- ・社員教育、人材育成（大型自動車免許の取得）、新卒者の採用
- ・車両の入替
- ・廃棄物の処理項目の増加
- ・事業拡大

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・IT、AIの導入により業務の自動化を進め、必要な人員を最適化することで、組織全体の生産性・効率性の向上を図る。
- ・木材や剪定した枝葉類をリサイクルして燃料などに変えていくバイオマス燃料事業を新たに立ち上げ、より一層の資源循環型社会の実現を目指す。
- ・行政に寄り添った事業展開を強みとしており、多くの許認可を得ている。瀬戸市だけでなく、尾張旭市、長久手市への事業展開を強化する。
- ・行政だけでなく、一般事業者からの受け入れを進める。

実施体制

- ・新工場の建設を予定しており、既存事業の生産性向上と、バイオマス燃料事業の立ち上げによる売上増加に対応。
- ・既存車両を順次入れ替えし、作業の効率化を図る。
- ・IT、AIを積極的に導入し、効率化と業務管理体制の強化を図る。
- ・機械等の最新設備を導入し、木材とプラスチックを同時にリサイクル処理できる環境を整備する。
- ・社員教育、人材育成、新卒者の採用を通して、人員不足への対応を行い、さらには労働環境の改善を進め、社員が誇りをもって働けるようにする。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円目標実現の根底にある経営理念

100億円宣言を行う根底には、「廃棄物を資源へと循環させ、持続可能な社会の実現に貢献する」という強い使命感があります。昭和55年以降、長年、資源リサイクル事業を行っており、古紙や廃プラスチック類など、多様な資源循環の仕組みを構築してきました。単なる廃棄物処理業務にとどまるのではなく、社会に新たな価値を生み出す企業への進化を志しています。

また、一般廃棄物処理施設や産業廃棄物中間処理施設といった設備投資を積極的に行い、リサイクルの効率化と高度化を推進しています。これは、地域の環境保全にとどまらず、全国的な資源循環モデル企業を目指す姿勢の表れでもあります。

さらに、当社は「正確な計量」「高度な車両管理」「GPS搭載による作業効率化」といった技術革新を積極的に取り入れており、従来の廃棄物処理業の枠を超えた次世代型の事業運営を進めています。今後の10年では、DX（デジタル化）の加速、IT・AIによる需要予測や効率的な収集ルート構築など、さらなるイノベーションを取り入れることで、事業規模の拡大とサービス品質の向上を同時に実現していくことを計画しています。

売上高100億円という大きな目標は、単なる数字の追求ではなく、「環境事業を通じて地域社会に信頼と安心を届ける」という当社の経営理念に深く根付いた目標です。

